

日本的ビジネスモデル事例研究セミナー開催！

弊社は温故知新の視点で、日本独自のイノベーションのあり方を追求しつつ、日本型ビジネスモデルの鉱脈の発掘に努めています。今年には6つの事例を取り上げることに致しました。日本にも優れたビジネスモデルの伝統、DNAがあります。江戸時代と現代の事例から、私達自身が自前のビジネスモデルをデザインするための、貴重なヒント、手がかりを掴んでいきたいと思えます。

セミナー・日本型ビジネスモデル事例研究 (全6回)

- * 2012年6月～8月 2013年3月～5月
- * 会場 ちよだプラットフォーム会議室500(5階)
- * 講師 阿部 義通 (弊社 代表取締役社長)
- * 参加費 2000円
- * 定員 10名 (参加申し込みはメールでお願いします)

開催月日	具体的事例	特徴	現代への適用	研究課題
6月28日	富山藩財政改革	薬を預け、使ったものを精算「先用後利」	グリコ置き菓子、ボーイング置き機材	利用課金システムの先駆者
7月26日	福井藩財政改革	「民富論」生産力向上と外国貿易	ケインズ理論、地方自治体の財政再建	江戸末期に世界相手の大商社
8月30日	日本的モチベーション	共同体と機能集団の弁証法	日本的イノベーションとグローバル化	日本型とグローバルの弁証法
3月	鳴子温泉の米プロジェクト	食の自治 地元との交流型観光	共同体のつくり方 地方自治の可能性	地元圏内循環経済と経済的自立
4月	中堅建築会社のBM転換	日本全国から地元へ 平面から垂直へ	大から小への逆転のBM	小さく進化することのメリット
5月	上杉藩財政改革	藩を挙げての殖産事業	地域経済の復興モデル 地元の宝発掘	十割自治と江戸時代の経済学

*4回目以降は年内の開催を予定していましたが、都合により一部テーマを変更して3月～5月で開催することと致しました。